

目標の進捗状況

I. 共通観点2 「共通の成果指標と達成目標」						
①教員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任教員等の割合						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
外国人教員等 (A)	439 人	443 人	462 人	485 人	568 人	653 人
うち外国籍教員	139 人	153 人	175 人	203 人	252 人	328 人
うち外国の大学で学位を取得した日本人教員	184 人	189 人	186 人	186 人	194 人	199 人
うち外国で通算1年以上3年未満の教育研究歴のある日本人教員	58 人	48 人	49 人	50 人	61 人	63 人
うち外国で通算3年以上の教育研究歴のある日本人教員	58 人	53 人	52 人	46 人	61 人	63 人
全専任教員数 (B)	3,413 人	3,495 人	3,467 人	3,410 人	3,599 人	3,694 人
割合 (A/B)	12.9 %	12.7 %	13.3 %	14.2 %	15.8 %	17.7 %

外国籍の教員、外国の大学で学位を取得した日本人教員、外国で1年以上または3年以上の教育研究歴のある日本人教員について、それぞれの数と全専任教員数を記入する。

②職員に占める外国人及び外国の大学で学位を取得した専任職員等の割合						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
外国人職員等 (A)	34 人	53 人	56 人	63 人	48 人	55 人
うち外国籍職員	8 人	8 人	10 人	8 人	14 人	17 人
うち外国の大学で学位を取得した日本人職員	6 人	17 人	17 人	20 人	10 人	12 人
うち外国で通算1年以上の職務・研修経験のある日本人職員	20 人	28 人	29 人	35 人	24 人	26 人
全専任職員数 (B)	1,771 人	1,776 人	1,809 人	1,635 人	1,771 人	1,771 人
割合 (A/B)	1.9 %	3.0 %	3.1 %	3.9 %	2.7 %	3.1 %

外国籍の職員、外国の大学で学位を取得した日本人職員、外国で1年以上の職務・研修経験のある日本人職員について、それぞれの数と全専任職員数を記入する。

③教職員に占める女性の比率						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
女性教員 (A)	362 人	380 人	402 人	405 人	455 人	518 人
全専任教員数 (B)	3,413 人	3,495 人	3,467 人	3,410 人	3,599 人	3,694 人
割合 (A/B)	10.6 %	10.9 %	11.6 %	11.9 %	12.6 %	14.0 %
女性職員 (C)	633 人	669 人	740 人	693 人	669 人	682 人
全専任職員数 (D)	1,771 人	1,776 人	1,809 人	1,635 人	1,771 人	1,771 人
割合 (C/D)	35.7 %	37.7 %	40.9 %	42.4 %	37.8 %	38.5 %

女性教員、女性職員の数を入力する。

④全学生に占める外国人留学生の割合						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
外国人留学生数(A)	1,733 人	1,773 人	1,876 人	2,082 人	3,065 人	4,900 人
うち在留資格が「留学」の者	1,692 人	1,732 人	1,816 人	2,013 人	2,758 人	4,500 人
うち在留資格が「留学」以外の者	41 人	41 人	60 人	69 人	307 人	400 人
全学生数(B)	23,493 人	23,405 人	23,391 人	23,492 人	23,493 人	23,493 人
割合(A/B)	7.4 %	7.6 %	8.0 %	8.9 %	13.0 %	20.9 %
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
外国人留学生数(C)	2,210 人	2,426 人	2,656 人	3,254 人	4,086 人	5,500 人
うち在留資格が「留学」の者	2,044 人	2,125 人	2,284 人	2,929 人	3,677 人	5,000 人
うち在留資格が「留学」以外の者	166 人	301 人	372 人	325 人	409 人	500 人
全学生数(D)	23,493 人	23,405 人	23,391 人	23,493 人	23,493 人	23,493 人
割合(C/D)	9.4 %	10.4 %	11.4 %	13.9 %	17.4 %	23.4 %

外国人留学生のうち、在留資格が「留学」の数に加え、「留学」の在留資格を有さない短期留学生等の数を記入する。

⑤日本人学生に占める留学経験者の割合						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
単位取得を伴う海外留学経験者数(A)	177 人	191 人	208 人	260 人	350 人	440 人
うち学部(B)	94 人	134 人	103 人	145 人	190 人	230 人
うち大学院(C)	83 人	57 人	105 人	115 人	160 人	210 人
全学生数(D)	21,760 人	21,623 人	21,509 人	21,052 人	20,428 人	18,593 人
うち学部(E)	13,505 人	13,491 人	13,435 人	13,348 人	13,223 人	12,856 人
うち大学院(F)	8,255 人	8,132 人	8,074 人	7,704 人	7,205 人	5,737 人
割合(A/D)	0.8 %	0.9 %	1.0 %	1.2 %	1.7 %	2.4 %
割合(B/E)	0.7 %	1.0 %	0.8 %	1.1 %	1.4 %	1.8 %
割合(C/F)	1.0 %	0.7 %	1.3 %	1.5 %	2.2 %	3.7 %
教員の指導の下、3ヶ月以上研究派遣された大学院生数(G)	73 人	70 人	49 人	115 人	150 人	200 人
割合(G/F)	0.9 %	0.9 %	0.6 %	1.5 %	2.1 %	3.5 %

日本国籍を有している正規学生数(全学生数)と、その内、単位取得を伴う留学を経験した学生の数を記入する。この場合、留学期間は問わない。また、大学院生について、教員の指導の下、3ヶ月以上の研究派遣された学生の数を記入する。この場合、単位取得の有無は問わない。

⑥大学間協定に基づく交流数						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
大学間協定に基づく派遣日本人学生数 (A)	133 人	203 人	212 人	200 人	260 人	330 人
うち単位取得を伴う学部生数	81 人	23 人	27 人	121 人	158 人	203 人
うち単位取得を伴わない学部生数	35 人	150 人	157 人	52 人	68 人	87 人
うち単位取得を伴う大学院生数	12 人	2 人	3 人	19 人	24 人	28 人
うち単位取得を伴わない大学院生数	5 人	28 人	25 人	8 人	10 人	12 人
全学生数 (B)	23,493 人	23,405 人	23,391 人	23,493 人	23,493 人	23,493 人
割合 (A/B)	0.6 %	0.9 %	0.9 %	0.9 %	1.1 %	1.4 %
大学間協定に基づく受入外国人留学生 数 (C)	172 人	182 人	205 人	260 人	350 人	430 人
うち単位取得を伴う学部生数	138 人	155 人	133 人	200 人	270 人	340 人
うち単位取得を伴わない学部生数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
うち単位取得を伴う大学院生数	14 人	14 人	55 人	25 人	30 人	35 人
うち単位取得を伴わない大学院生数	20 人	13 人	17 人	35 人	50 人	55 人
全学生数 (D)	23,493 人	23,405 人	23,391 人	23,493 人	23,493 人	23,493 人
割合 (C/D)	0.7 %	0.8 %	0.9 %	1.1 %	1.5 %	1.8 %

外国の大学との連携・交流協定に基づき交流する/した学生数を記入する。
また、日本人学生及び外国人留学生について、単位取得を伴う人数と、伴わない人数を学部生・大学院生別に記入する。

⑦外国語による授業科目数・割合						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
外国語による授業科目数 (A)	639 科目	738 科目	885 科目	1,100 科目	2,250 科目	3,300 科目
うち学部 (B)	205 科目	244 科目	324 科目	420 科目	1,040 科目	1,560 科目
うち大学院 (C)	434 科目	494 科目	561 科目	680 科目	1,210 科目	1,740 科目
英語による授業科目数(D)	609 科目	707 科目	854 科目	1,100 科目	2,250 科目	3,300 科目
うち学部	189 科目	227 科目	304 科目	420 科目	1,040 科目	1,560 科目
うち大学院	420 科目	480 科目	550 科目	680 科目	1,210 科目	1,740 科目
全授業科目数 (E)	11,207 科目	11,683 科目	12,219 科目	11,000 科目	11,000 科目	11,000 科目
うち学部 (F)	5,275 科目	5,511 科目	5,771 科目	5,200 科目	5,200 科目	5,200 科目
うち大学院 (G)	5,932 科目	6,172 科目	6,448 科目	5,800 科目	5,800 科目	5,800 科目
割合 (A/E)	5.7 %	6.3 %	7.2 %	10.0 %	20.5 %	30.0 %
割合 (B/F)	3.9 %	4.4 %	5.6 %	8.1 %	20.0 %	30.0 %
割合 (C/G)	7.3 %	8.0 %	8.7 %	11.7 %	20.9 %	30.0 %
割合 (D/E)	5.4 %	6.1 %	7.0 %	10.0 %	20.5 %	30.0 %

外国語及び英語による授業科目数と全授業科目数を記入する（語学としての授業を除く）。
なお、外国語（または英語）による授業科目とは、全授業を日本語ではなく外国語（または英語）で実施する授業科目とする。
また、同一の授業科目で複数セクションが設けられている場合は、それぞれ独立した授業科目として数に含める。

⑧外国語のみで卒業できるコースの数等						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
外国語のみで卒業できるコースの設置数(A)	27 コース	27 コース	27 コース	32 コース	30 コース	30 コース
うち学部(B)	1 コース	1 コース	1 コース	1 コース	1 コース	1 コース
うち大学院(C)	26 コース	26 コース	26 コース	31 コース	29 コース	29 コース
全学位コースの設置数(D)	79 コース	79 コース	79 コース	84 コース	82 コース	82 コース
うち学部(E)	13 コース	13 コース	13 コース	13 コース	13 コース	13 コース
うち大学院(F)	66 コース	66 コース	66 コース	71 コース	69 コース	69 コース
割合(A/D)	34.2 %	34.2 %	34.2 %	38.1 %	36.6 %	36.6 %
割合(B/E)	7.7 %	7.7 %	7.7 %	7.7 %	7.7 %	7.7 %
割合(C/F)	39.4 %	39.4 %	39.4 %	43.7 %	42.0 %	42.0 %
外国語のみで卒業できるコースの在籍者数(G)	417 人	411 人	471 人	514 人	470 人	470 人
うち学部(H)	46 人	58 人	69 人	81 人	46 人	46 人
うち大学院(I)	371 人	353 人	402 人	433 人	424 人	424 人
全学生数(J)	23,493 人	23,405 人	23,391 人	23,492 人	23,493 人	23,493 人
うち学部(K)	13,836 人	13,865 人	13,840 人	13,817 人	13,836 人	13,836 人
うち大学院(L)	9,657 人	9,540 人	9,551 人	9,675 人	9,657 人	9,657 人
割合(G/J)	1.8 %	1.8 %	2.0 %	2.2 %	2.0 %	2.0 %
割合(H/K)	0.3 %	0.4 %	0.5 %	0.6 %	0.3 %	0.3 %
割合(I/L)	3.8 %	3.7 %	4.2 %	4.5 %	4.4 %	4.4 %

外国語のみで卒業できるコースの設置数、全学位コースの設置数、外国語のみで卒業できるコースの在籍者数及び全学生数を学部・大学院別に記入する。

⑨学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組						
外国語力基準	TOEFL iBTで80点以上(IELTSの場合は6.0以上)を達成する学生の比率50%					
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
外国語力基準を満たす学生数(A)	72 人	266 人	378 人	2,350 人	9,400 人	11,750 人
うち学部(B)	20 人	107 人	202 人	1,380 人	5,540 人	6,920 人
うち大学院(C)	52 人	159 人	176 人	970 人	3,860 人	4,830 人
全学生数(D)	23,493 人	23,405 人	23,391 人	23,493 人	23,493 人	23,493 人
うち学部(E)	13,836 人	13,865 人	13,840 人	13,836 人	13,836 人	13,836 人
うち大学院(F)	9,657 人	9,540 人	9,551 人	9,657 人	9,657 人	9,657 人
割合(A/D)	0.3 %	1.1 %	1.6 %	10.0 %	40.0 %	50.0 %
割合(B/E)	0.1 %	0.8 %	1.5 %	10.0 %	40.0 %	50.0 %
割合(C/F)	0.5 %	1.7 %	1.8 %	10.0 %	40.0 %	50.0 %

大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、大学が定める時点において当該基準を満たす学生数、全学生数を学部・大学院別に記入する。

⑩ナンバリング実施状況・割合						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
ナンバリングを行っている授業科目数 (A)	421 科目	494 科目	482 科目	924 科目	11,000 科目	11,000 科目
うち学部 (B)	421 科目	494 科目	482 科目	456 科目	5,000 科目	5,000 科目
うち大学院 (C)	0 科目	0 科目	0 科目	468 科目	6,000 科目	6,000 科目
全授業科目数 (D)	10,300 科目	11,063 科目	11,411 科目	11,124 科目	11,000 科目	11,000 科目
うち学部 (E)	4,641 科目	5,145 科目	5,285 科目	4,963 科目	5,000 科目	5,000 科目
うち大学院 (F)	5,659 科目	5,918 科目	6,126 科目	6,161 科目	6,000 科目	6,000 科目
割合 (A/D)	4.1 %	4.5 %	4.2 %	8.3 %	100.0 %	100.0 %
割合 (B/E)	9.1 %	9.6 %	9.1 %	9.2 %	100.0 %	100.0 %
割合 (C/F)	0.0 %	0.0 %	0.0 %	7.6 %	100.0 %	100.0 %

ナンバリングを行っている授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。

⑪シラバスの英語化の状況・割合						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
シラバスを英語化している授業科目数 (A)	994 科目	1,256 科目	1,405 科目	2,643 科目	5,200 科目	6,500 科目
うち学部 (B)	301 科目	387 科目	456 科目	990 科目	2,640 科目	3,300 科目
うち大学院 (C)	693 科目	869 科目	949 科目	1,653 科目	2,560 科目	3,200 科目
全授業科目数 (D)	12,563 科目	12,995 科目	13,283 科目	14,027 科目	13,000 科目	13,000 科目
うち学部 (E)	6,582 科目	6,757 科目	6,755 科目	7,492 科目	6,600 科目	6,600 科目
うち大学院 (F)	5,981 科目	6,238 科目	6,528 科目	6,535 科目	6,400 科目	6,400 科目
割合 (A/D)	7.9 %	9.7 %	10.6 %	18.8 %	40.0 %	50.0 %
割合 (B/E)	4.6 %	5.7 %	6.8 %	13.2 %	40.0 %	50.0 %
割合 (C/F)	11.6 %	13.9 %	14.5 %	25.3 %	40.0 %	50.0 %

シラバスを英語化している授業科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。

なお、同一の授業科目で複数セッションが設けられている場合、それぞれ独立した授業科目として数に含める。

⑫奨学金支給の入学許可時の伝達						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数 (A)	193 人	214 人	229 人	230 人	236 人	245 人
奨学金を取得した外国人留学生数 (B)	341 人	335 人	386 人	380 人	386 人	395 人
割合 (A/B)	56.6 %	63.9 %	59.3 %	60.5 %	61.1 %	62.0 %

外国人留学生への奨学金支給の入学許可時の伝達数及び奨学金を取得した外国人留学生数を記入する。

⑬混住型学生宿舎の有無						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数(A)	92人	137人	149人	141人	300人	400人
留学生宿舎に入居している外国人留学生数(B)	392人	297人	326人	281人	660人	800人
割合(A/B)	23.5%	46.1%	45.7%	50.2%	45.5%	50.0%
混住型宿舎に入居している日本人学生数(C)	531人	532人	597人	738人	731人	831人
全日本人学生数(D)	21,248人	21,158人	21,038人	20,938人	19,928人	18,093人
割合(C/D)	2.5%	2.5%	2.8%	3.5%	3.7%	4.6%

混住型学生宿舎に入居している外国人留学生数、留学生宿舎に入居している外国人留学生数、混住型宿舎に入居している日本人学生数及び全日本人学生数を記入する。

⑭年俸制の導入						
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
年俸制適用者(教員)数(A)	630人	649人	822人	958人	750人	775人
全専任教員数(B)	3,413人	3,495人	3,467人	3,410人	3,599人	3,694人
割合(A/B)	18.5%	18.6%	23.7%	28.1%	20.8%	21.0%
年俸制適用者(職員)数(C)	202人	248人	281人	272人	202人	202人
全専任職員数(D)	1,771人	1,776人	1,809人	1,635人	1,771人	1,771人
割合(C/D)	11.4%	14.0%	15.5%	16.6%	11.4%	11.4%

教員及び職員について、年俸制適用者数(教員・職員別)、全専任教員数及び全専任職員数を記入する。

⑮テニユアトラック制の導入						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
テニユアトラック対象者数(A)	4人	7人	7人	9人	20人	40人
年間専任教員採用者数(B)	454人	422人	442人	470人	479人	491人
割合(A/B)	0.9%	1.7%	1.6%	1.9%	4.2%	8.1%

テニユアトラック対象者数、一年間の専任教員採用者数を記入する。

⑯事務職員の高度化への取組						
外国語力基準	TOEIC Score 800					
	平成25年度 (H25.5.1)	平成26年度 (H26.5.1)	平成27年度 (H27.5.1)	平成28年度 (H28.5.1)	平成31年度 (H31.5.1)	平成35年度 (H35.5.1)
外国語力基準を満たす専任職員数(A)	66人	70人	76人	107人	122人	140人
全専任職員数(B)	1,771人	1,776人	1,809人	1,635人	1,771人	1,771人
割合(A/B)	3.7%	3.9%	4.2%	6.5%	6.9%	7.9%

大学において定めた外国語力基準を記入するとともに、当該基準を満たす専任職員数を記入する。

⑰学生の主体的参加と大学運営への反映の促進						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
学生による授業評価実施授業科目数 (A)	1,242 科目	5,941 科目	9,730 科目	10,530 科目	10,530 科目	10,530 科目
うち学部 (B)	666 科目	4,251 科目	5,670 科目	5,760 科目	5,760 科目	5,760 科目
うち大学院 (C)	576 科目	1,690 科目	4,060 科目	4,770 科目	4,770 科目	4,770 科目
全授業科目数 (D)	11,254 科目	11,629 科目	12,617 科目	11,700 科目	11,700 科目	11,700 科目
うち学部 (E)	6,162 科目	6,365 科目	6,499 科目	6,400 科目	6,400 科目	6,400 科目
うち大学院 (F)	5,092 科目	5,264 科目	6,118 科目	5,300 科目	5,300 科目	5,300 科目
割合 (A/D)	11.0 %	51.1 %	77.1 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %
割合 (B/E)	10.8 %	66.8 %	87.2 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %
割合 (C/F)	11.3 %	32.1 %	66.4 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %

学生による授業評価実施科目数及び全授業科目数を学部・大学院別に記入する。
 なお、同一の授業科目で複数セッションが設けられている場合、それぞれ独立した授業科目として数に含める。

⑱TOEFL等外部試験の学部入試への活用						
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
対象学部入学定員数 (A)	40 人	40 人	58 人	48 人	48 人	48 人
全入学定員数 (B)	2,866 人	2,866 人	2,866 人	2,866 人	2,866 人	2,866 人
割合 (A/B)	1.4 %	1.4 %	2.0 %	1.7 %	1.7 %	1.7 %

TOEFL等外部試験による入学定員数及び全入学定員数を記入する。

共通観点2の各指標 (①～⑱) における特記事項	
特になし	

Ⅱ. 共通観点3 「大学独自の成果指標と達成目標」 【3ページ以内】

<定量的>

	平成25年度 (H25.7.1)	平成26年度 (H26.7.1)	平成27年度 (H27.7.1)	平成28年度 (H28.7.1)	平成31年度 (H31.7.1)	平成35年度 (H35.7.1)
① Times Higher Education (THE) World Ranking	52 (位)	59 (位)	88 (位)	32 (位)	12 (位)	10 (位)
	平成25年度 (通年)	平成26年度 (通年)	平成27年度 (通年)	平成28年度 (通年)	平成31年度 (通年)	平成35年度 (通年)
② 学生の国際共著論文数(国際学会共著発表論文を含む)	193 (篇)	512 (篇)	646 (篇)	260 (篇)	330 (篇)	400 (篇)
③ ジョン万プログラムによる学生の海外派遣数	107 (人)	132 (人)	138 (人)	150 (人)	200 (人)	250 (人)
④ 国際インターンシップを経験した学生数	146 (人)	107 (人)	137 (人)	180 (人)	240 (人)	300 (人)
⑤ 遠隔講義システムによる講義等ICTを活用した国際共同実施科目数	52 (科目)	72 (科目)	89 (科目)	70 (科目)	90 (科目)	110 (科目)

<定性的>

- [1]ワールドプレミアム高等教育ネットワーク(WPHEN)の構築を介した次世代卓越人材育成
- [2]WPHENのジャパンゲートウェイにふさわしい全学教育研究環境・インフラの整備
- [3]国際化に伴う危機管理共同体制の確立と整備-international allianceの拡充
- [4]同窓会の世界戦略展開
- [5]国際化戦略推進 産官学オープンイノベーション教育組織の整備

【各指標の進捗状況】

定量(指標1) Times Higher Education (THE) World Ranking
世界大学ランキングデータについて包括的かつ俯瞰的な分析・調査を行っており、その結果を受ける形で本学の更なる研究推進ならびに研究力強化に向けた新たな機軸を策定すると共に、継続して海外高等教育機関との協働も促進している。

定量(指標2) 学生の国際共著論文数(国際学会共著発表論文を含む)
学生の語学力を強化する取組を推進するとともに海外留学を促進している。また、学生の国際学会発表を奨励・支援する取組を推進している。

定量(指標3) ジョン万プログラムによる学生の海外派遣数
意欲と能力のある学生に海外留学の機会を付与する「ジョン万プログラム」により学生支援を強化し、海外留学者数は順調に増加している。

定量(指標4) 国際インターンシップを経験した学生数
これまで主として理系研究科において中長期インターンシップをカリキュラム化して行ってきたが、今後は文部科学省「博士課程リーディングプログラム」の枠組みでのインターンシップ経験者の増加が見込まれる。また、経済産業省「中長期研究人材交流システム構築事業」との連携等を視野に入れ、国際インターンシップをさらに推進する方策を検討していく。

定量(指標5) 遠隔講義システムによる講義等ICTを活用した国際共同実施科目
マラヤ大学、清華大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校等、複数の海外大学と遠隔講義を実施している。

定性[1]ワールドプレミアム高等教育ネットワーク(WPHEN)の構築を介した次世代卓越人材育成
全学的な活動としては、日英交流コンソーシアム(RENKEI)においては、平成27年8月に本学より1名の学生をユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドンへ派遣し、日独6大学学長会議(ヘキサゴン)においては、10名の学生をハイデルベルク大学、ゲッチンゲン大学、カールスルーエ工科大学へ派遣している。こうしたプログラムに参加することで、学生は他国からの参加者との友好を深め、自身が持つ情報や経験の効果的な発信の仕方や国際舞台での経験値の重要性について自身を省みる機会を得ながら、英語力やプレゼン力・コミュニケーション能力といったスキルを更に高めなければならないというモチベーションを得る貴重な体験となっている。以上については、今後も積極的派遣を推進していく予定であるが、その他、環太平洋大学協会(APRU)等においても、学術交流のみならず、学生会議やサマープログラム等へ学生を積極的に派遣し、世界トップレベル大学の学生との議論や文化交流経験を通じて、国際社会で次世代を担うリーダーとなりうる人材育成を支援していく。また、スーパーグローバルコースを実施する6分野においては、人文社会科学系においてハイデルベルク大学とのジョイントディグリーの導入に向けて調整を進めており、準備段階として2015年10月より単位互換制度を開始、英語による授業科目群も整備された。また、数学系においては、海外の卓越した研究者を副指導教員として博士学生の共同指導を行う体制が整備され、平成27年度末に3名の学生が学位を取得し、スーパーグローバルコース修了認定書の交付を受けた。化学系においては、平成27年4月より「フレスーパーグローバルコース」を開講し、マサチューセッツ工科大学へ学生を中長期研究インターンシップとして派遣するなどの取組を行った。医学生命系においてはマギル大学とのジョイントディグリー実施を視野に入れて調整を進めている。平成27年度より新規でスーパーグローバルコースに参画することとなった環境学系・社会健康医学系においては、既存のダブルディグリープログラムに加えて主にアジア圏の大学と新たなダブルディグリー実施に向けた調整を進めている。こうした取り組みによって、学生により実質的で質の高い海外大学との共同教育を提供できる体制が整いつつある。

定性[2]WPHENのジャパンゲートウェイにふさわしい全学教育研究環境・インフラの整備
国や地方公共団体の土地に民間企業との協力により留学生・外国人研究者宿舎を建設し運営する等の方策を検討し、国からの予算措置に依存しないスキームでインフラ整備を図っている。

定性[3]国際化に伴う危機管理共同体制の確立と整備-international allianceの拡充
本学では、国際関係危機管理体制検討ワーキングの意見を取り入れ、様々な角度から留学生が加入すべき保険を検討してきたが、平成27年度より、留学生に対し学生賠償責任保険へ原則全員加入を実施した。本保険への加入により、学内での教育研究活動中の事故のみならず、通学途上の事故等、学外の活動に対しても対応が可能となった。特に補償内容に示談交渉のサービスも含めたことで、事故が起こった際の交渉を保険会社が代行することで、学生本人及び大学にかかる負担が軽減した。

定性[4]同窓会の世界戦略展開
平成27年度末現在、京都大学同窓会は合計109組織で構成されており、そのうち海外同窓会は16か国27組織となっている。27年度は、マレーシアにおいて、現地同窓会が中心となった「東南アジアネットワークフォーラム」が開催され、本学から副学長をはじめ多数が出席し、活発な交流・意見交換を行った。その他にも、27年度は2回、海外同窓会の総会等に京都大学の役員を派遣している。また、現在も新たな海外同窓会設立の動きがあり、現地の担当者との積極的な連絡を取り、情報提供など支援を行っている。

定性[5]国際化戦略推進 産官学オープンイノベーション教育組織の整備
本学はIUI(Industry-University-University-Industry)構想の下に平成20年から海外大学および研究機関との連携を通じてそれぞれの大学と産官学連携の共同研究の構築と推進を行ってきた。特に、英国オフィスを中核として、フランス・スイス・ドイツ等を含む各国の大学・研究機関と技術移転に関するMOUを締結するとともに、人材交流や技術移転を行っている。

構想調書において設定した意欲的かつ挑戦的な独自の定量的成果指標、定性的成果指標を記入の上、それぞれの進捗状況を記入する。

その他

持になし